

amplitude-integrated EEG の 成熟に伴う変化に関する検討

【研究の意義、目的】

amplitude-integrated EEG (aEEG) は脳波を用いたモニタリング機器であり、現時点での脳機能をリアルタイムに評価することができます。成熟児の amplitude-integrated EEG (aEEG) 波形は正常・異常ともに所見が定まっており臨床評価に応用されています。しかしながら、早産児 aEEG 波形は、成熟にもなって変化することが知られているものの、各受胎後週数における正常の波形というものが定まっていません。本研究では早産児 aEEG の正常および異常パターンについて、通常脳波をもとに検討を行います。早産児の aEEG の正常・異常のパターンが定まれば、神経学的合併症を起こしやすい早産児においても臨床評価への応用が可能となります。aEEG により早産児のリアルタイムでの脳機能が評価できれば、治療の方針決定に寄与することができるため、早産児の神経学的予後を改善させることができる可能性があります。aEEG を用いてよりよい早産児の管理を行えるようにするため、本研究を行います。

【研究の方法】

1 研究の対象

2012年6月から2019年9月までに名古屋大学医学部附属病院 NICU において aEEG 記録を行った患者約 150 例。

2 研究の方法

診療録から、通常脳波記録、周産期情報、身長・体重・頭囲の推移や、発達指数、等の情報を集計し、通常脳波正常の児の aEEG 波形から早産児正常所見の検討を行います。また、正常から外れた aEEG 所見と発達予後の関連について検討を行います。研究期間は本研究が倫理委員会に承認されてから 2019 年 12 月 31 日までとします。

【個人情報保護に関して】

皆様の資料を分析する際には、氏名・住所などの個人情報を取り除き、代わりに新しく符号を付けて、どの方のものか分からないようにした上で（連結可能匿名化）、実際のデータと連結表を別々の場所に分けて厳重に保管します。

【本研究に同意されない方へ】

本研究の調査対象の患者さんの保護者の方で、調査に同意されない方は以下の連絡先に

遠慮なくご連絡ください。今回の研究に同意しないからといって、今後の診療に何ら不利益になることはありません。

【問い合わせ・苦情の受付先】

○問い合わせ先

説明担当者氏名：名古屋大学医学部附属病院小児科 講師 佐藤義朗

（電話052-744-2294、ファックス052-744-2309）

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課：（052-744-2479）